

むうへとさきやくむうへや今も無きとちかきよめ
此の塙本の中をのぞく

る
とあり鷹とわうありの神代よりや狩とさうん

是も糸の糸よあへく唯ありの神代より狩とさうん

たく鷹とつひにひいとさのさこれハ禮記王制五ノ獺祭

魚然後虞人入澤梁豺祭獸然後田獵鳩化爲鷹然後

設罝羅とさうをさうくもさひいさや又禽經云

小而鷖者皆曰隼大而鷖者皆曰鳩ともさうさあのをさ

日本の橘の都をさひ此のさう外国の故事をさひて唯ありへの

遠るをさうく神代といひいさや古語を唯可尋知とさう